



# 尼崎医療生協 7月豪雨災害支援ニュース

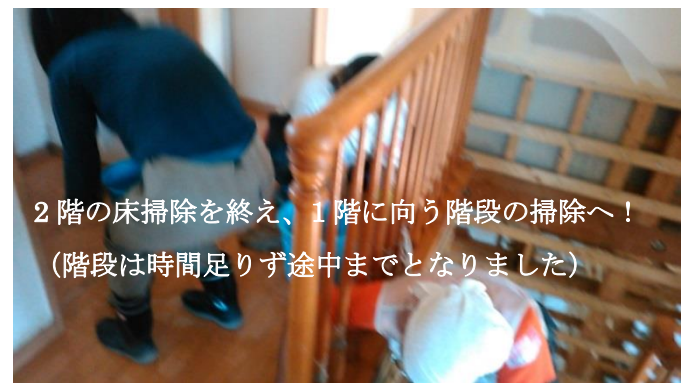
第5号 2018年8月20日

尼崎医療生活協同組合

8月18日（土）、第5回支援隊は4名で、倉敷市災害ボランティアセンターに行ってきました。駐車場に着き受付に向かうと5人ごとの班をつくりそのままバスへ。私たちのグループには岡山から一人できた検査技師さんが合流しました。バスの移動中にボランティア登録を行い、被災地にあるサテライト（最も被害の大きかった箭田サテライト）に着くと各班のリーダーが呼ばれニーズ表を渡され、リーダーが依頼者と連絡を取り支援内容を確認し、必要な道具を準備し現地へ向かいます。このように大変効率的な運営がされていることに関心しました。私たちの班は、床拭き、窓ふき、家具の運びだし等のニーズでした。25分程度かけて被災地を歩き到着、実際にできる活動時間は2時間強。2階の床掃除から開始。泥がへばりついているため何度も拭き掃除を繰り返さなければ綺麗になりません。バケツの水を何度も何度も交換するために2階と1階の水栓口を移動することも結構な重労働。全ての依頼には応えられませんが、効率よくできる限りの力は出せたのかなと満足して帰りました。残ったニーズは依頼者と確認の上、サテライトに帰った際に引き継がれますので、後日ボランティアが入ることになります。現在は、泥だし作業が終わり、家の拭き掃除などのニーズが多いようです。まだまだボランティアが必要なことを実感して帰ってきました。



道路は綺麗になっていますし、家も綺麗に見えますが、全ての家が2階まで浸水しました。



2階の床掃除を終え、1階に向う階段の掃除へ！  
(階段は時間足りず途中までとなりました)

## 8月14日～15日 水島協同病院へ高松先生が医師支援！

以前、生協病院で研修をされた南方先生が京都から支援に入られており、高松先生は、南方先生より引継ぎを受けて、外来、救急、当直、翌朝引継ぎと医師支援に行かれました。後日、水島協同病院からもお礼の連絡も届いています、お疲れ様でした！

**8/14 現在支援募金額 424,048円**

内、10万円を全日本名医連通じて義捐金としてお送りしました